

## 新春経済講演会開催

当所は、安城経済同友会と刈谷法人会安城支部と共催で1月29日(木)午後2時より、講師に福山大学教授で元経済企画庁長官の田中秀征氏を迎え、「最近の政治と経済」と題し新春経済講演会を開催。

当日は、講演に先立ち当所石原会頭が主催者を代表して挨拶及び講師の紹介を行ない、その後田中氏は1時間30分にわたる次のように講演された。

### 【景気回復】

10日ぐらい前に政府は今年はいじめての経済報告を発表した。今回の報告はメディアに大きく取り上げられた。その理由は3年ぶりに「回復」という言葉を使ったことにある。事実上の景

気回復宣言と言われている。政府は昨年12月まで、景気が持ち直してきているという言葉を使っていた。しかし、日銀はその3ヶ月ほど前から「緩やかな回復」と「回復」という言葉を使っていた。そして今回、政府はこの日銀の景気認識を「着実に回復」という言葉で一気に抜き去ったのだ。

### 【二度目の正直】

私から見てもこの景気の認識は順当だろう。「二度目の正直」である。つまりバブル崩壊後の日本経済を見ると2回チャンスがあった。1996年と2000年である。96年はGDP4%と先進国最高であった。しかし、「本格的回復」ではなかった。なぜ「本格的回復である」と見誤ったかという点、「民間需要(個人消費・設備投資)の強さ」と言っ点で今回に比べるとはるかに弱く、住宅などを含めた「公共事業」が圧倒的に強い内容であった。要するに、政府が引っ張っている景気対策である。

しかし、今回の3度目のチャンスは、2度に比べはるかにものになりそうだ。一つに、「民間需要」。特にデジタル革命や自動車産業において設備投資に力強さが見える。ただし「地域経済や中小企業・家庭までの浸透」といった実感が湧くにはまだまだ時間がかかりそうではあるが、

渋滞の高速道路で例えるならばずっと先のほうが動き出したと言っ感じである。これほど経済状況に期待がもてることはバブル崩壊後これまでなかったことだ。

### 【不安要素】

然しながら、今回のチャンスにも「不安要素」が2つある。

#### ①イラク情勢(世界経済)

日本経済というのは、経済の内部的要因よりも外部的要因である「イラク情勢」に運命を握られている。これは、イラク情勢が深刻化・長期化し「軍事費(駐在費)」がかり、アメリカの財政負担が一気に膨張する。そしてドルが暴落し、円高による輸出産業に致命的な打撃を受ける。このような点から、一昨年前に「イラク戦争」を開戦するべきではなかったのだ。ただ、過去ではなく今どうするべきかと言っ、なるべく早くイラク情勢が終わりに向かう努力をし、アメリカが仕切っているイラクを早く国連或いはイラク人が仕切る状態に持っていく手助けを日本がしなければならいだろう。

#### ②財政改革

財政改革と行政改革とは根本的に違う。「財政改革」とは増税もしくは補助金(サービス)のカットであり、「いたみ」は納税者に帰属する。逆に「行政改革」

は、人員削減や公務員給与の引き下げであり、「いたみ」は行政内部に帰属する。そして、財政改革は歴史上数限りなく行われてきたが、一度も成功していないのだ。成功した場合の共通点は、行政改革が成功しその手順をきちんと踏んだ場合である。みんな指導者層が身を削ってきたのである。それをやらずに財政改革をした結果が財政赤字700兆円という借金である。小泉改革というのは、本来行政改革がメインのはずであった。しかし今行っている改革は、本意だとは思っが結果的に財政改革である。先のマニフェスト選挙では、民主党が80人の議員削減をあげていた。メディア等が注目していればそれに対し自民党は100人、また民主党はそれ以上にとどんどん人員を削ることが出来たかもしれない。民主党は4年間で国家公務員の1割削減をあげていたがこれも同様である。民間同様行政がリス

トラをするのは当たり前であり、それが注目されていれば、更なる人員削減が出来たかもしれない。マニフェスト選挙は、そういったボールの投げ合いでなければならい。

財政改革は、行政改革を省略して進むことは出来ない。それは経済に対し大きなマイナスを与えることになる。過去10年間

にどれだけ景気対策にお金を費やしただろう。91年バブル崩壊後、92年3月に対策を打ち出し、更に8月には10兆円規模の大型対策を行った。それ以来、小泉内閣が発足するまでに事業規模にして143兆円を費やした。これだけのお金を費やして再生することが出来なかったのだ。これは一つに、日本経済の診断の間違いがあげられる。ただ、その都度の景気や雇用を支えてきたという効果はあった。しかし、96年にGDP4%を計上した後、97年に「5%に消費税率アップ」「特別減税の廃止」「サラリーマンの医療費の負担を2割へ」と総額で13兆円の国民負担増を行ったのだ。治ったと言われていた日本経済がまた治っていないときにその荷物を背負い潰れてしまい、今まで費やしたお金は効果を無くし、無駄となった。今回も全体的に増税路線の流れである。財政状況が悪いところに、負担増をやることにより逆に財政状況が悪くなる。負担増により経済基盤が衰弱し、益々収入が少なくなり、結果的に逆のことをしていることになる。もし今後も財政改革を優先すれば大問題である。自民・民主どちらが政権をとるにしても、当面の緊急の重要課題を解決できる意志と能力を持った政権ができればいい。

にどれだけ景気対策にお金を費やしただろう。91年バブル崩壊後、92年3月に対策を打ち出し、更に8月には10兆円規模の大型対策を行った。それ以来、小泉内閣が発足するまでに事業規模にして143兆円を費やした。これだけのお金を費やして再生することが出来なかったのだ。これは一つに、日本経済の診断の間違いがあげられる。ただ、その都度の景気や雇用を支えてきたという効果はあった。しかし、96年にGDP4%を計上した後、97年に「5%に消費税率アップ」「特別減税の廃止」「サラリーマンの医療費の負担を2割へ」と総額で13兆円の国民負担増を行ったのだ。治ったと言われていた日本経済がまた治っていないときにその荷物を背負い潰れてしまい、今まで費やしたお金は効果を無くし、無駄となった。今回も全体的に増税路線の流れである。財政状況が悪いところに、負担増をやることにより逆に財政状況が悪くなる。負担増により経済基盤が衰弱し、益々収入が少なくなり、結果的に逆のことをしていることになる。もし今後も財政改革を優先すれば大問題である。自民・民主どちらが政権をとるにしても、当面の緊急の重要課題を解決できる意志と能力を持った政権ができればいい。



# 会 員 事 業 所 訪 問



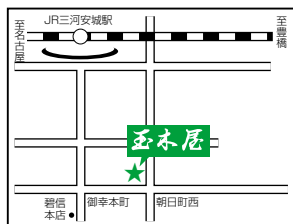
今回ご紹介する事業所は、中心市街地にあり手作り惣菜が人気の「玉木屋」さん。

玉木屋の手作り惣菜は、創業以来八〇余年、防腐剤や保存料、化学調味料などの添加物はほとんど使用せずに、πウォーターと天然だしをふんだんに使用して手作りする「おかあさんの味」。だから子どもからお年寄りまで安心して食べていただくことができます。

お店に出される惣菜は「その日に作り、その日に売り切る」とをモットーに、安全で安心して食べられるお惣菜作りを心がけ、五〇種類以上のお惣菜と

忙しいお母さんのお手伝い

玉木屋



御幸本町7-12  
TEL 74-1188

**休 営**  
9時30分～19時15分  
毎週火曜日・第3月曜日  
(岩井)

豊富な種類のおかずの味」玉木屋の惣菜で楽しい食卓の手助けをしてみたいか、いかがですか。

※店頭にてπウォーターを無料で差し上げております。(ペットボトルなどの容器をご持参ください)

そんな店内は従業員のみなさんも活気に溢れ、お弁当や仕出し料理なども要望に応じてくれます。

「豊富な種類のおかずの味」玉木屋の惣菜で楽しい食卓の手助けをしてみたいか、いかがですか。

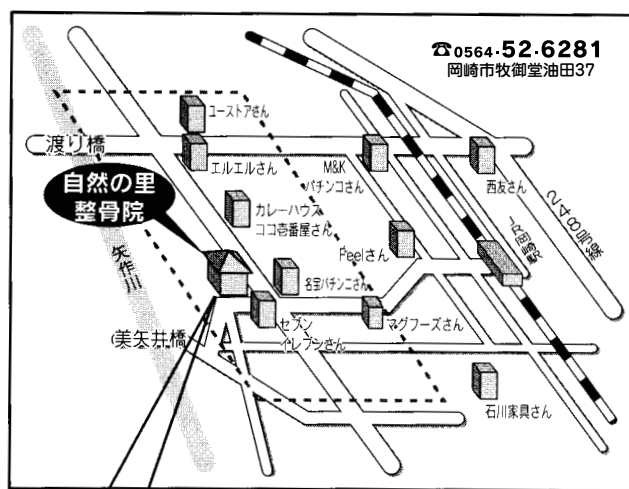


かじたまひす  
自然の里  
整骨院

この頃肩こりがひどくて、ひざが痛くて、腰の調子がどうも…なんてついつい口に出してしまう方にお勧めしたい事業所が岡崎市牧御堂にある「自然の里整骨院」。

温熱治療、マッサージ、整体、全身ローラー、電気治療など症状に適した治療を行っています。

院内は木の安らぎと音楽で満



|    | 月                  | 火 | 水 | 木 | 金 | 土                 | 日 |
|----|--------------------|---|---|---|---|-------------------|---|
| 午前 | 6:00<br>～<br>11:00 | ○ | ○ | 休 | ○ | ○                 | ○ |
| 午後 | 2:00<br>～<br>7:00  | ○ | ○ | 休 | ○ | 1:00<br>～<br>4:00 | 休 |

からだのリフレッシュ

ち溢れ、待合室にいる時からゆったりとした気持ちになります。朝6時からやっていますので、一度出かけてみてはどうですか。

(鈴木)



2/6  
西三河地域商談会

当所をはじめ西三河の6商工会議所と愛知県中小企業振興公社は共催で「平成15年度西三河地域商談会」を2月6日(金)に岡崎商工会議所にて開催しました。当日は発注企業27社、受注企業68社が一同に会し、個別に商談を行いました。来年度は刈谷で開催を予定しています。



2/18  
工業部会  
『優良施設見学会』

見学会は2月18日(水)に、常滑沖に1年後の開港を目指し現在建設が進められている「中部国際空港セントレア」に加賀部会長をはじめとする部会員35名が参加して行いました。

当日は天気にも恵まれ、セントレア館において職員の方に空港島の概要説明を受けた後、日本で3番目の長さとなる3500mの滑走路や着々と建設が進められているターミナルビルなどをバスの車上から見学し、展望台より名古屋ドーム120個分と言われる広大な敷地を見ながらの現地説明を受けました。

見学後は、常滑の地場産業である焼き物の販売施設であるセラモールややきもの散歩道の散策と、博物館の里の施設見学を行い、優良施設の見学と部会員の交流を深めていただくことが出来た有意義な1日を過ごしていただきました。



参加企業を  
募集します

『2005年3月までのISO9001・14001の取得を目指す、2004年3月中にキックオフする企業を募集』  
当所ではISOの認証取得を

目指す企業の支援として協同認証プログラムをご用意しております。

4社協同認証支援プログラムとは、4社を1グループとすることで各企業間で互いの良いシステムを取り入れたり、単独取得では従来3百万〜4百万円かかるといわれるコンサルティング費用を1社あたり120万円程度に抑え、費用負担の低減も図ります。なお、研修期間は約1年間です。(※1社あたり120万円で開催できるのは4社協同の場合です)

詳しくは、電話等にてお気軽にお尋ねください。  
問合せ▼安城商工会議所  
TEL(76)5175

議員職をとする者の変更

【アイシン精機(株)安城工場】  
蜂谷明英→好永敏

議員  
好永氏



【FUJ銀行安城支店】  
富永洋→長谷川博

常議員  
長谷川氏



まちづくりAnjoNEWS

安全な「まち」のために街頭パトロールを開始

現れ始めています。

地域の学校、住民、商業者など中心市街地を活用する方々が、最近の性風俗店の出店によるまちの治安悪化の進展から子供とまちを守るために、会を発足し、

「ご関心のある方は、毎週金曜日夜7時半にJR安城駅前交番に集合し、約1時間をかけてパトロールを行っておりますので、是非ご参加ください。」

昨年12月より毎週金曜日の夜に中心市街地内にある14店の風俗店に対し、安城のまちには要らないことを行動で示すパトロールを開始しました。

問▼まちづくりAnjo TEL76-5175

安城の「食」と「農」を考えるシンポジウム  
〜ひとりひとりの「食」と「農」〜

このパトロールには毎週大勢の方が参加をされており、警察の協力もいただきながら活動をしています。  
とき▼3月13日(土)午後1時30分  
ところ▼JAあいち中央総合センター 生活館2階ホール  
申込み▼安城市農務課 TEL76-1111

最近では、これまで店外に設置されていた看板が撤去されるなどその効果も現れ始めるなど、市民による草の根運動の効果が

都市再生プロジェクト推進事業  
都市再生大学校芸術学院を開校

まちづくりAnjoでは、安城市と地域振興整備公団の協力をいただき、地域住民による「都市再生大学校芸術学院」、まちづくりや都市再生を専門とする大学生による「都市再生大学校」、次世代のまちづくりを担う高校生による「都市再生大学校附属安城高校」の3つのワークショップを開催し、安城市のまちづくりについて様々な方々のアイデアを募ることにより、更生病院の跡地や中心市街地の活用方策について意見を出していただきました。今後はこれらによる意見を参考にまちづくりを推進していきます。

